

令和元年度（一財）山形コンベンションビューロー事業報告

□ 活動の概要

コンベンションの開催状況としては、「第8回内視鏡下耳科手術ハンズオンセミナーin 山形（95人）」など2件の国際会議と「第70回日本学校農業クラブ全国大会 令和元年度南東北大会（5,300人）」などの全国大会が28件開催されました。東北大会規模の開催を加えた年間の開催総数は70件、参加者総数は26,151人となりました。

誘致支援活動では、東京で開催された「第29回国際MICEエキスポ」と「東北地区MICE誘致商談会」に出展し、首都圏の学会・協会本部やキーパーソンへの個別訪問活動へとつなげました。開催されたコンベンションに対しては、開催助成金や貸切バス・アトラクション費用助成などで主催事務局をサポートし、山形らしい大会になるよう支援を行いました。

また、コンベンションに関する調査及び広報事業においては、30年度に調査したコンベンション開催による経済波及効果を用い、コンベンションがもたらす地域への波及効果を紹介しました。

山形国際交流プラザ管理運営事業では、展示会、研修会等で2,257件の貸出しを行い、来場者数は約42万人となり、村山広域圏（7市7町）並びに関係団体の協力を得て開催しました山形ビッグウイングフェスティバルでは、25,200人の方から来場をいただくことができました。

また、プラザは建設より25年が経過し経年劣化による故障等が増加しております。安全安心を第一に考えた修繕を行うと共に、利用者からの要望にはできるものから素早く対応するなど利便性の向上にも努めました。

事業別活動状況については、次のとおりです。

□ 事業別活動状況

1 コンベンションの誘致及び開催支援事業

地元の主催団体や首都圏等の学会・協会本部等を訪問する誘致活動を継続実施するとともに、国際MICEエキスポなど商談会等で得た新規案件やグローバル都市連携によるデータを整理し誘致活動に活かした。

また、支援活動では主催事務局を開催準備段階からサポートし、開催助成金や貸切バス費用の助成をするとともに、地元業者の紹介など幅広く支援活動を行った。

(1) 誘致事業

令和元年度に開催が決定した主なコンベンション

開催年度	会期	開催名称	開催場所	参加者数	うち 県外者数 (外国人)	規模
令和2年度	7/18-19	第8回日本腎栄養代謝研究会学術集会・総会	山形テルサ	500人	350人	全国
	8/21-23	日本ブリーフサイコセラピー学会第30回山形蔵王大会	東北文教大学	250人	210人	全国
	9/11-12	第49回日本リウマチの外科学会	山形国際ホテル	120人	100人	全国
	11/23-27	化学・環境・バイオ工学に関する国際会議	ほほえみの宿滝の湯	100人	50人 (30人)	国際
	3/6	第28回日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医大会	山形テルサ	500人	490人	全国
令和3年度	6/5-6	日本精神保健看護学会 第31回学術集会・総会	山形県総合文化芸術館、山形テルサ	1,000人	650人	全国
	7/30-31	日本中毒学会総会・学術集会	山形テルサ	500人	450人	全国
	10/14-15	第65回全国保育研究大会	山形県総合文化芸術館、山形テルサ、市内ホテル	1,500人	1,300人	全国
	11/19-20	第71回全国英語教育研究大会山形大会	山形県総合文化芸術館、山形大学小白川キャンパス	1,200人	800人	全国
	11/26-27	第22回日本クリニカルパス学会学術集会	山形テルサ	2,000人	1,500人	全国
	2/2-4	第34回日本肘関節学会学術集会	山形テルサ	1,000人	800人	全国
令和4年度	7/28-29	第70回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会 山形大会	山形テルサ	1,200人	800人	全国
	8/25-27	第70回日本PTA全国研究大会兼第54回日本PTA東北ブロック研究大会	県内各地	8,000人	4,500人	全国

令和 4 年度	10/28-29	第 49 回日本股関節学会学術集会	山形県総合文化芸術館、山形テルサ、ホテルメトロポリタン山形	2,000 人	1,900 人	全国
	11/9-11	第 67 回日本聴覚医学会 総会・学術講演会	山形テルサ、山形県総合文化芸術館	500 人	480 人	全国

① 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2 年度に開催を予定していた国際会議や全国大会等に延期や開催を中止する情報が寄せられた。(令和 2 年 3 月 31 日現在)

- ・延期したコンベンション 5 件
- ・開催を中止したコンベンション 1 件

② M I C E 誘致商談会への参加

(ア) 第 29 回国際 M I C E エキスポ (I M E 2 0 2 0)

期 日 令和 2 年 2 月 26 日 (水)
場 所 東京都 東京国際フォーラム
参加団体 96 団体 81 ブース
来 場 者 首都圏在住の学会事務局等 363 人
山形ブース商談数 15 団体 22 人

(イ) 令和元年度東北地区 M I C E 誘致商談会

期 日 令和元年 12 月 12 日 (木)
場 所 東京都 都市センターホテル
参加団体 東北地区コンベンション推進協議会会員 (15 団体)
来 場 者 首都圏在住の学会事務局等 (23 団体 36 人)
山形ブース商談数 8 団体

③ グローカル都市連携

国際会議の誘致に積極的に取り組んでいるビューロー 4 団体が国際会議データの共有化を図り、約 200 件のデータベースから山形開催の可能性を探り、61 団体に対し温泉 M I C E 資料等を送付するとともに、5 団体を訪問した。

④ 誘致訪問活動状況

首都圏・仙台圏・県内域外の学協会本部・キーパーソン等 38 団体延べ 42 回訪問。村山広域圏内での誘致活動 35 団体延べ 52 回訪問。

⑤ コンベンション施設ガイドの制作配布

村山広域圏の公的施設及び賛助会員施設を掲載した、山形コンベンション施設ガイドのデザインを新たにし、インターネット環境のアイコンやQRコードによる各施設Webサイトリンクなどを記載した。

(2) 開催支援事業

① 支援訪問活動状況

首都圏・仙台圏・県内域外への支援訪問活動 11団体 12回訪問

地元各種団体等 107団体 延べ301回訪問

ビューローが支援した団体(主催者)数

開催年度	開催予定件数	支援総数(※)
令和元年度 実績	70件	58件
令和2年度	44件	44件
令和3年度	27件	26件
令和4年度	4件	4件
計	145件	132件

※開催予定件数のうちビューローが支援している件数。

② アトラクション支援

(国際規模上限額100,000円、全国規模上限額50,000円)

[11件総額:555,000円]

開催名称	規模	内容	交付実績
第65回全国検察審査協会連合会定期大会	全国	太鼓(芸工大)	50,000円
第8回内視鏡下耳科手術ハンズオンセミナーin山形	国際	やまがた舞子・芸妓	100,000円
(公社)全国脊髄損傷者連合会第18回総会山形県大会	全国	花笠踊り(県保健医療大)、車いすダンス、歌唱	50,000円
錯体化学若手研究会「錯体化学若手の会夏の学校2019」	全国	花笠踊り(四面楚歌)	5,000円
第57回全国自治体病院協議会 精神科特別部会総会・研修会	全国	歌唱(朝倉さや)、花笠踊り(四面楚歌)	50,000円
第16回全国紙芝居まつり かみのやま(山形)大会	全国	金生田植え踊り、大型紙芝居	50,000円
第29回日本耳科学会総会・学術講演会	全国	やまがた舞子・芸妓	50,000円
全国農業高等学校長会第144回全国理事会・第139回総会並びに令和元年度秋季研究協議会	全国	やまがた舞子・芸妓	50,000円
令和元年度全国医師会勤務医部会連絡協議会	全国	花笠踊り(四方山会)	50,000円
(公社)石油学会山形大会(第49回石油・石油化学討論会)	全国	花笠踊り(四面楚歌)	50,000円

第 31 回全国高等学校文化連盟研究大会（山形大会）	全国	花笠踊り（若柳社中）	50,000 円
----------------------------	----	------------	----------

③ コンベンション開催用貸切バスの支援

（国際規模は参加者 50 人以上から、全国規模は 100 人以上から）

[8 件総額：1,091,456 円]

開催名称	規模	参加者数	交付実績
錯体化学若手研究会「錯体化学若手の会夏の学校 2019」	全国	122 人	99,360 円
第 16 回全国紙芝居まつり かみのやま(山形)大会	全国	425 人	93,096 円
第 655 回建設技術講習会	全国	213 人	100,000 円
第 29 回日本耳科学会総会・学術講演会	全国	1,146 人	100,000 円
第 70 回日本学校農業クラブ全国大会	全国	5,300 人	400,000 円
全国文化的景観地区連絡協議会 大江大会	全国	150 人	100,000 円
2019 年度日本デザイン学会 秋季企画大会	全国	150 人	100,000 円
日本乳幼児教育学会第 29 回大会	全国	450 人	99,000 円

④ コンベンション開催助成金

[8 件総額：3,075,500 円]

開催名称	規模	主会場	参加者数 (交付対象)	交付実績
第 65 回全国検察審査協会連合会定期大会	全国	ほほえみの宿滝の湯	217 人 (201 人)	301,500 円
第 8 回内視鏡下耳科手術ハンズオンセミナー in 山形	国際	山形医学交流館	95 人 (国内 52 人 国外 14 人)	155,000 円
第 57 回全国自治体病院協議会 精神科特別部会総会・研修会	全国	ホテルメトロポリタン山形	264 人 (253 人)	379,500 円
第 16 回全国紙芝居まつり かみのやま(山形)大会	全国	日本の宿古窯	425 人 (200 人)	300,000 円
日本物理学会 2019 年秋季大会(素核宇)	全国	山形大学小白川キャンパス	1,220 人 (国内 428 人 国外 1 人)	647,500 円
第 29 回日本耳科学会総会・学術講演会	全国	山形テルサ、ホテルメトロポリタン山形	1,146 人 (200 人)	300,000 円
令和元年度全国医師会勤務医部会連絡協議会	全国	東北芸術工科大学	339 人 (298 人)	447,000 円
(公社)石油学会山形大会(第 49 回石油・石油化学討論会)	全国	ほほえみの宿滝の湯	480 人 (国内 345 人 国外 5 人)	545,000 円

⑤ 山形空港、山形駅、天童駅に歓迎看板を掲示

24 件の国際規模・全国規模のコンベンションに対し歓迎看板を掲示した。

⑥ 「コンgresバッグ」「主催者向け便利ツール（地図・写真等）」の提供

会議主催者が参加者に配布するコンgresバッグを 28 件の主催者に有償支援した。また主催者向け便利ツール提供や「山形紹介 DVD」の貸出、開催地の観光物産等情報提供を行った。

2 コンベンションに関する調査及び広報事業

平成30年度に調査したコンベンション開催における年間の経済波及効果を地元紙で発表し、コンベンションが地域経済に及ぼす効果を周知した。また、主催者と参加者に好評である山形おもてなしガイド「ウマイベヤマガタ」の制作と同Web版の更新、スマートフォン用アプリ「やまがたMICEなび」などを活用し、域内の情報発信を行った。

(1) 調査事業

① コンベンション開催情報の収集と開催意向の調査

山形県や7市7町の行政機関、コンベンション施設、県内各種団体等、319件に今後の開催意向を調査し、延べ60件の情報を収集した。

② コンベンション地図、交通アクセス・データの調査更新

主催者向けコンベンション地図・交通アクセス等データを更新し提供した。

③ 各種会議への参加（主なもの）

・2019年度第1回JCCBコンベンション・ビューロー部会

期 日 令和元年7月18日（木）・19日（金）

場 所 福島県福島市 コラッセ福島

・令和元年度東北地区コンベンション推進協議会職員研修会

期 日 令和元年10月24日（木）・25日（金）

場 所 福島県会津若松市 福西本店

・2019年度第2回JCCBコンベンション・ビューロー部会

期 日 令和元年12月3日（火）

場 所 千葉県木更津市 かずさアカデミアホール

④ 東北地区コンベンション推進協議会定例総会の開催

期 日 令和元年7月4日（木）・5日（金）

場 所 ホテルメトロポリタン山形

参加者 15団体、28人

(2) 広報事業

① 経済波及効果調査結果を用いた新聞による広報

平成30年度に調査したコンベンションによる経済波及効果測定結果を用い、コンベンションが地域に及ぼす様々な効果を県民に周知した。

② ホームページやSNSによる情報発信

ホームページ、やまがたMICEなび（無料アプリ）やFacebookな

どのSNSを活用し村山広域圏の情報を発信した。

- ③ 山形おもてなしガイド「ウマイベヤマガタ」の企画・制作及び配布
コンベンション参加者に飲食店、宿泊、観光などをまとめた冊子50,000部を配布するとともにWebページにより紹介した。
広告掲載店 210店
- ④ ビューロー紹介パンフの増刷配布
主催者にビューローの支援内容を紹介するためのパンフレットを増刷し配布した。
- ⑤ 国際会議誘致用リーフレットの作成と配布
温泉MICEをはじめ海外の参加者に喜ばれる、山形らしい開催環境をまとめたリーフレットを作成し、誘致訪問活動やダイレクトメールで活用した。
- ⑥ JR山形駅自由通路ショーケースの活用による広報
JR山形駅東西自由通路アピカ・ショーケースを活用し、カレンダーの掲示や支援コンベンションのポスターを掲示するなど、開催コンベンションを周知した。
- ⑦ ホームページによる7市7町動画配信及びプラザ内観光物産展示コーナーへの常設展示
昨年度から開設したご当地PR動画を集めたページの更新を行うとともに山形国際交流プラザ内の村山広域圏観光物産展示コーナーで、観光・物産の紹介をした。
- ⑧ 機関紙「ルネッサンス」の発行（年2回）
年2回（7月、1月）発行し、ビューロー活動の周知を図るとともに、賛助会員の紹介等を行った。
- ⑨ 山形大学広報誌への広告掲載
山形大学の教職員にビューローの支援活動を周知するため、山形大学広報誌「みどり樹」への広告掲載を行った。
年2回 秋号・春号 各2万部発行
- ⑩ マスコミ等を活用した広報
 - ・新聞への広告掲載 2回
 - ・山形空港での電飾看板の掲示

3 山形国際交流プラザの管理運営事業

(1) 令和元年度の利用状況など

新型コロナウイルス感染症の影響により催事等が相次いで中止されたことで、すべての項目が前年度より減少した。

① 利用件数 (単位：件)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度
展示棟	132	149	131
会議棟	2,068	2,194	2,264
その他	57	57	72
合計	2,257	2,400	2,467

② 来場者数 (単位：人)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度
来場者数	413,325	452,034	461,370

開館以降来場者数累計 16,916,986人

③ 施設利用料 (単位：円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度
利用料	173,633,106	180,333,454	166,626,864

④ 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の影響により、施設使用に関する延期や中止が相次いだ。その申し出の件数は、約170件となり、使用料収入として見込んでいた分も含め損害総額は約2,000万円となった。(令和2年3月31日現在)

(2) 安全安心の確保

災害時等に備えた「危機対応マニュアル」を改訂整備し、緊急時に迅速な対応が取れるよう体制づくりを図った。

また、火災予防に関する一定の要件を満たし、遵守状況が優良と認められる場合に適用される防火対象物点検報告制度の特例認定を受けた。

(3) 適切な維持管理及び利用者への満足感の提供

利用者から要望があったトイレの洋式化や、無料のレンタル傘を設置するなど利便性の向上に努めた。また、施設や設備等に不具合が生じた場合は適切な補修を行い、利用者へ支障がないよう配慮すると共に、施設内照明を段階的にLED

化するなど、節電や省エネにも努めた。

① 改修計画の更新

平成30年度に実施した建物老朽化診断調査結果を基に、大規模な改修等については、山形市へ提案するなど情報を共有した。

② 利用者情報交換会の開催

利便性の向上並びにプラザの利用促進を目的として、主催者から利用時における要望や意見等を伺い、改善できるものについては速やかに対応した。

期 日 令和元年12月18日（水）

場 所 山形国際交流プラザ会議室

参加者数 13人

③ モニタリングの実施

施設を利用された主催者及び来場者を対象にアンケート調査を実施した。

それらにより得た要望などについては、できるものから対応し、リピーターの確保に努めた。

<主催者対象>

調査期間 令和元年9月1日～30日

配布枚数 168枚（回収率：55.3%）

④ 全国展示場連絡協議会等への参加

全国54施設で構成されている全国展示場連絡協議会の会議に出席し、他施設との情報交換を行い連携の強化を図った。

<総 会>

期 日 平成31年4月25日（木）・26日（金）

場 所 大阪府 マイドームおおさか

<実務担当者会議>

期 日 令和元年10月31日（木）・11月1日（金）

場 所 東京都 東京ファッションタウンビル

<北海道・東北ブロック会議>

期 日 令和元年10月24日（木）・25日（金）

場 所 青森県 青森国際ホテル

(4) 自主事業の実施

① 山形ビッグウイングフェスティバルの開催

この催事は、平成26年に山形ビッグウイング開設20周年を記念して始まったもので、6回目の開催となった。

「食」をテーマとした村山広域圏（7市7町）うまいものフェアを開催し、物産品・名産品等の販売やPRを行った。

共催事業として、山形市伝統的工芸品まつり、みちのくこけしまつりを開催した。

期 日 令和元年11月30日（土）・12月1日（日）

場 所 山形国際交流プラザ 展示場1234

来場者数 25,200人

② 山形国際交流プラザ館長杯グラウンド・ゴルフ大会の開催

国際交流広場の利用拡大及び市民の健康増進を図ることを目的に、山形市グラウンド・ゴルフ協会の協力を得て行った。

期 日 令和元年6月18日（火）

場 所 山形国際交流プラザ 国際交流広場

参加者数 257人

③ 地場産業紹介コーナーの設置

地元産業の振興を図ることを目的として、プラザ1Fエレベーター前の展示コーナーに「山形市美と技の伝統工芸」と題し、山家焼などの展示を行った。

④ 子どもの映画教室の開催

山形ドキュメンタリーフィルムライブラリーの利用促進並びにPRを目的とし、認定NPO法人山形国際ドキュメンタリー映画祭の協力を得て実施した。小中学生を対象にくるくる幻燈機（手作りアニメーションプロジェクター）を作成し、出来上がった作品の試写等を行った。

期 日 令和2年3月20日（金）

場 所 山形国際交流プラザ 試写室他

参加者数 16人

（5）利用促進に向けたセールス活動等の実施

プラザの利用拡大を目的に、主に県外利用者や過去の利用者、類似施設を使用している主催者等を訪問した。また、県内外の企業等にダイレクトメールを発送しプラザのPRに努めた。

4 総務

(1) 理事会・評議員会等

① 監事監査

開催日	平成31年4月26日(金)
開催場所	山形国際交流プラザ
監査内容	平成30年度事業報告等、平成30年度計算書類等、平成30年度公益目的支出計画実施報告

② 第1回通常理事会

開催日	令和元年5月14日(火)
開催場所	ホテルメトロポリタン山形
決議事項	平成30年度事業報告及び同附属明細書の件、平成30年度計算書類及び同附属明細書の件、平成30年度公益目的支出計画実施報告の件、評議員会の日時及び場所の件、評議員会の目的事項の件
報告事項	令和元年度業務執行状況の件

③ 定時評議員会

開催日	令和元年6月5日(水)
開催場所	山形国際ホテル
決議事項	評議員の選任の件、理事の選任の件、監事の選任の件、平成30年度計算書類の件
報告事項	平成30年度事業報告の件、平成30年度公益目的支出計画実施報告の件

④ 3月みなし決議(通常理事会)

決議があったとみなされた日	令和2年3月16日(月)
報告事項	令和元年度第1回理事会以降の事業執行状況の件、給与規程一部改正の件
決議事項	令和2年度事業計画の件、令和2年度収支予算の件

(2) 人材育成

組織形成や専門的な知識を深めることを目的とし、各種研修に参加し職員の実力開発を図った。

① 全国公益法人協会夏季特別講習会

期 日 令和元年7月11日(木)・12日(金)

場 所 東京都 損保会館

② 全国公益法人協会新春特別セミナー

期 日 令和2年1月16日(木)・17日(金)

場 所 東京都 損保会館

③ 2019年度下期JCCB人材育成研修会

期 日 令和2年2月3日(月)・4日(火)

場 所 東京都 JNTO会議室等

(3) 自衛消防総合訓練の実施(年2回)

消防法で定められた自衛消防総合訓練を、財団職員と常駐委託業者が一体とな
って実施した。

期 日 1回目 令和元年 6月20日(木)

2回目 令和元年12月11日(水)